

(5) キャリア教養コース

教科科目	科目の特徴	科目の目標
20世紀の歴史と文明	平成の30年は、冷戦終結後の30年であり、バブル崩壊後の30年であり、テレビ時代の終わり、IT時代の始まりの30年である。この時代の30年の末に見えている風景は一体どのようなものか経済・政治・社会・文化それぞれの視点からふりかえる。	平成の時代をふりかえり、現在の私たちが向き合っている景色を歴史的・構造的に認識する知的考察力を獲得する。
外国語Ⅰ（英会話）	ペアワークまたはグループワーク中心の授業により、毎回英語を使います。語彙力とコミュニケーション的なアプローチで、外国の方々と交流するための基本の会話とフレーズを実際に使えるようになります。	英語の基本語彙や発音を覚え、様々なシチュエーションに基づいた「実際に使える英語」の習得をめざす。
法学概論	法とはなにか、国家と法律の基礎知識・統治機構・基本的人権・犯罪と法・民法学などについて理解する。	法学の基礎的知識を習得する。法とは何か、市民生活において必須と思われるいくつかの問題を通じ、認識していく。日本国憲法の三大原理についても学ぶ。
ゼミナールⅠ	少人数の編成でディスカッションを積極的に採り入れ、学生の自発的な参加による双方向性の授業を展開していく。指導教員の下、ゼミ形式で、あるテーマに関する研究発表や議論・講読やボランティア活動などを展開する。	課題発見能力・レポートにまとめる能力。プレゼンテーション能力を養う。
キャリアデザイン概論Ⅰ	職種研究、業界研究を通し、自分が興味を持っている働き方を考える。また、自己分析を実施し、自己PRが言えるように準備を行う。最終的には、模擬面接形式で、興味がある業界・職種、自己PRを話せるようになる。	職種研究・業界研究を通した自己分析を実施し、自分に向いている働き方を見つける。将来ビジョンを考え、就職活動を円滑に進められるようになる。
キャリアデザイン概論Ⅱ	グループワークや発表を通して、自由な発想、行動表現を培うために、自己肯定感が充実するように学ぶ。	演劇スキルを基に、短期大学生としての教養を身につけ、就職活動に役立つ表現を学ぶ。
キャリアデザイン概論Ⅲ	社会保険制度について学び、社会人としての常識を身につける。また、個別相談を実施し、自身のキャリアについての不安を解消する。そして、税金について学ぶことで、額面給与から何が差し引かれているのかを理解する。ふるさと納税や新NISA、iDeCO等についても学び、金融の基礎知識を身につける。	就職後のキャリアイメージを明確にし、社会に出るまでの準備を整える。社会における基礎知識を身につけ、スムーズな社会人1年目になるようマインドセットする。
キャリア演習Ⅰ	教育現場や福祉施設で行われる音楽療法やリトミックの内容を学び、音楽とは何か、その起源や様々なジャンルそして癒しや作用について理解を深める。	コミュニケーションツールとしての音楽について考えることができる。
キャリア演習Ⅱ	就職の面接選考を想定したグループディスカッションを通し、ディスカッション形式に慣れるとともに、自分の意見を論理的に相手に伝えられるようにする。また、SPI試験の言語分野、構造的把握力検査の問題を用いてリーディングスキルを鍛え、相手の発言や意見を構造的・論理的に捉えられるようにする。	コミュニケーションスキルを高め、自分の意見を相手に伝えられるようになる。リーディングスキルを高め、相手が伝えたいことを構造的に理解できるようにする。